平成 28 年度

Tとことん、A会って、 Cコミュニケーション!! ii!! TAC。

TACIE

平成29年 3月 8日

JA 福井県経済連 担い手対策課 Tm0776-91-0187

鬼の里農園(京都)来前!JA福特



12月5日京都の鬼の里農園が、JA福井市管内の南江守生産組合に来訪。南江守生産組合がH26年に麦作共励会農林水産大臣賞を受賞したことを受け、直接お話を聞きたいということで視察されました。

前半は南江守生産組合の杉本組合長より組織概要について説明。収量や品質向上に向けた取り組みをはじめ、作物別耕地面積や最高反収、収支計算書など資料に基づき細かく話され、視察者は熱心に聞き入りメモをとっていました。

後半は農舎にて、組織が保有する機械を見学。自分の組織と 比較しながら各々いろいろな話で盛り上がっていました。当日 は雨に降られることもなく、相互の親睦が図れた貴重な一日と なりました。

视神典等

1月17日【JA はるえ】H29年度に向けて、皆でガンバロウ三唱をしています。

1月11日【JA福井市】 納車した農機を前に、生産者と







会場には「初荷」と書かれた旗を掲げたトラクターや田植え機等が並んでおり、出発式では、JA・メーカー・経済連が一体となり推進に取り組むことを決意表明しました。

水耕栽培卜マト。同じに鑑賞印見



1月31日、県普及員らが行う大規模園芸現地巡回が JA はるえ管内のアグリ・エス・ケーで開かれ、ハウス内のトマトの生育状況や今後の栽培方針について生産者を交えた話し合いが行われました。

アグリ・エス・ケーでは昨年、新たな試みとなるトマトの水耕栽培をスタート。TACを通じて県の補助事業に申請し大型ハウスを設置しました。

アグリ・エス・ケーの小林代表にお話しを伺いました!

- アグリ・エス・ケーについて

水稲:約70町 園芸:ハウスで白ネギ、ほうれん草、トマト等を栽培

防除では無人ヘリの免許を持った代表が自らヘリを操縦します。

従業員:6名(うち女性1名)

- トマトの水耕栽培をしようと思ったきっかけ

露地・ハウスともにトマトの栽培経験はありますが、トマトを1年中作ってみたいという気持ちがあったこと、また今後 農業で生き延びていくために何か新しいことにチャレンジしたいという気持ちがあったことから今回の水耕栽培に至りました。

- 実際に栽培してみて

土耕栽培の時と比べて防除の回数が格段に減ったこと、ハウス内の温度管理や送液等は全て機械で行っていることなどから、管理全般がとても楽になりました。土耕栽培に劣らない実の数がついているため、これからの収穫が楽しみです。

また冬場に仕事ができたことで、年間を通して雇用ができるようになった点は良かったかなと思っています。















小林代表、JAはるえの皆様、お忙しい中ありがどうございきした。





高語音中派一下大会 周值 /



始めに平成 28 年度福井県 TAC 表彰として、昨年立てた目標に対し優れた取り組みをされた 4 名の TAC の表彰式が行われました。

最優秀賞 中積 俊彦氏(JA 若狭) 優秀賞 林 靖総氏 (JA 福井市) 優良賞 近藤 都芳氏(JA 花咲ふくい) 山田 有彦氏(JA たんなん) 3月3日、JA福井県五連組合員トータルサポートセンターが主催する「農業者サポート大会」が経済連総合施設センターで開かれました。本大会は現在県下10JAで取り組まれているTAC活動をJA役職員に広く知ってもらい、今後のTAC活動の体制強化やレベルアップに繋げていくことを目的に開催され、県内JAの担当役職員をはじめTACら約100名が参加しました。



その後 JA 全中担い手総合支援課 田村課長より「担い手支援にかかる全国情勢について」、同センター 秋田統括担当部長より「県内情勢及び活動報告について」。 「県内 TAC 事例報告」では JA 福井市 TAC 林氏より「農地集積と任意組織の統合」と題し、法人の規模拡大や組織立ち上げに TAC が仲介役として 関わったことで JA の経済、信用、共済事業に貢献したこと等を話されました。 JA 若狭 幸池専務から は「JA 若狭の TAC 活動と今後の方針について」専任 TAC 設置の経緯や活動内容、役員と TAC による担 い手訪問等について説明して頂きました。

基調講演には、2016 年に全国 TAC パワーアップ大会で全農会長賞を受賞された JA 北びわこ営農企画課兼 TAC 推進課 丸岡課長より「JA 北びわこの担い手訪問活動について」水田野菜の加工キャベツ・玉ねぎの提案に加えハウス遊休期間を活用した園芸品目の提案など、所得増大に向けた様々な取り組み

その後、同センター農業支援課 牧野課長より「平成 29 年度活動提案について」、最後に JA 越前丹生営農生活課 青山係長より「取組目標発表」と題し H29年度の TAC 活動に向けた意気込みが語られた後、大会は幕を閉じました。

について話していただきました。



TACパワーアップ大会2016開催

11月17、18日の両日、TACの先進的な取り組みを共有し活動のレベルアップを目指すことを目的とした「TACパワーアップ大会2016」が横浜市にて開催されました。本県からはTAC、TAC管理者等7名が参加。大会には全国のTACやJAから約600人が集い、担い手の経営改善とJA事業拡大に貢献する優秀な取り組み事例の発表や課題解決の共有、意見交換等を行いました。



全農の中野吉實会長は「大会も9回目を迎え、TACの活動は高度化し活動範囲も広くなってきた。 本年 4 月に全都道府県に設置された県域担い手サポートセンターにおいても担い手づくりとして TAC の活動が取り入れられ、活動の重要性が認識され浸透しつつある。」と TAC の地域活動を評価 しました。



JA表彰では全農会長賞に滋賀県のJA北びわこが選ばれ、この他に 6JA、TAC表彰で8人の功績がたたえられました。JA北びわこは、担い手の経営改善・所得向上ニーズに応えるために「農家組合員の所得増大プロジェクト」を設置。JA青壮年部と検討を重ね所得増大につながるメニューを作成し、麦・大豆の品質向上や園芸品目導入による複合経営とトータルコスト低減を両輪とした担い手への提案メ

ニューを TAC が提案。担い手から「TAC や JA が身近に感じられるようになった」と高い評価を 得たこと、若手農家の発想や意見を重要視していること等が受賞理由となりました。

1日目は表彰 JA や TAC の事例発表、2日目の分科会では他県 TAC とのグループワーク等があり、他県 TAC と交流できた実りある 2日間となりました。





第2回 TAC细当着环修会の開催

JA 福井県五連組合員トータルサポートセンター主催の第2回 TAC 担当者研修会が11月25日経済連総合施設センターにて開催され、県内JAのTAC等約30名が参加しました。

始めに県農業試験場高度営農支援課 山口主任より 「H28年度稲作の反省と本県稲作の方向性について」講演 があり、今年は栽培期間が安定して高温だったことから品 質・収量ともに良かったこと等振り返りました。





その後同センター小島農業担当部長より「30年問題について」、同センター農業支援課 牧野主幹より「農業におけるリスク管理について」説明がありました。

その後同課牧野課長より「3STACの取組みについて」、 担い手に出向く担当者の人材育成として、来年度から農 業簿記や経営分析、対人折衝力など幅広い分野の研修を 実施していくことを話し研修を終えました。

第3回 TAC细密着环体会の開催



第2回に引き続き、第3回 TAC 担当者研修会が2 月3日に開催。今回は経営改善の内容も含むため、県 内各JAのTACや営農指導員に加え金融渉外担当者ら 約50名が参加しました。

「JA グループの農業経営改善活動の取組みについて」同センター牧野課長より全国の取組みや他県の経営分析表について紹介。次に「業務意思決定の考え方について~請負を受けた場合の採算性は~」と題し

同センター

戸田氏より講習。今後担い手へ経営改善を提案していくにあたり、新たに受託面積を増やして 営農活動を拡大した方が良いのかどうか、採算性の考え方など演習問題を交えて解説がありました。

最後に「事業承継の手続きについて」全農 TAC 推進課の伊東氏より説明。喫緊の課題である後継者問題について、親元就農で必須となる話し合いの場に JA 職員が第三者として介入し、事業承継をサポートしていって欲しいと呼びかけました。

KINSIN 期間 2017/3/31 金まで ※商品によって売り切れ次第終了となる場合もございます。

JA組合員様限定 特別セール!

このチラシをご持参ください!表示価格より

※他の企画との併用は出来ません。 ※特価品、数量限定品などの一部対象外がございます。

5%割引!

期間中、デスクお買上けの方 JA組合員様限定 当社指定の プレゼント!!

2017 NEW COLLECTION

KID'S DESK SALE













KINSIN

もっと身近に、もっと新しく。

近新福井店
TEL.0776-52-2909
ERROR 10:00-10:00
ERROR 10:00-10:00
ERROR 10:00
ERROR

